

広報たしる

No. 326

昭和55年10月号

田代町総務課編集

1,500部発行



下部落、隈元さんのインゲン畑で

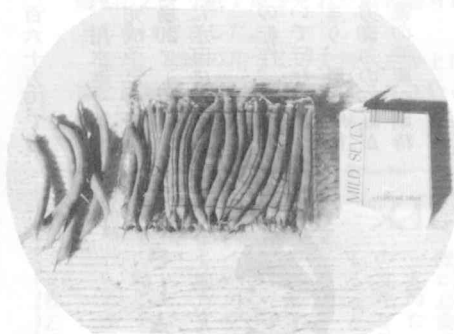
高値で取り引き

水田裏作のインゲン

水田の高度利用を計るため、毎年水田の裏作にインゲン、キヌサヤ、カボチャなどの栽培を進めています。毎年、台風災害などを受け計画どおり栽培されていない現状です。

今年は、台風13号の被害を受けながらも昨年に比較して、五倍の高値で取り引きされています。

水田を遊ばさないよう、有効な利用を考えましょう。





去る八月二十一日、大根田衛生管理組合ゴミ処理場が老朽化等のため、更新されることになり、工事の安全を祈願して起工式が行われました。

五十五年度から、根占町が新たに加わり、大根占町・田代町衛生処理組合から、名称も新しく大根田衛生管理組合と改められ、ゴミ処理能力も大巾に改善されます。

ゴミ処理場を更新

大根田衛生管理組合

総工事費三億一千万円で、来年の二月には完成する予定です。

小さなゴミは、できるだけ家庭で処理しましょう！

献体にご理解とご協力を

(鹿児島大学)

鹿児島大学では、医学、歯学教育の基礎となる解剖学教育充実のための献体運動に、みなさん方のご理解とご協力を求めています。

今日の医学・歯学は日進月歩とどまることなく発展し、多数の方々の病気の治療とその予防に貢献しております。

医学・歯学が人類の福祉向上に果たす役割は今後ともますますその重要性を増すことと思われまします。

しかしながら、医学・歯学教育や研究に必要なご遺体の数は年とともに減少し、不足の度を

高めております。

人体の構造を理解するための解剖を「正常解剖」と申しますが、没後「医学・歯学のために自分の身体を解剖してもよい」と、生前からの篤志をはっきり表わされて、献体される方、及びそのご遺族の方々の好意とご協力とによって正常解剖体数が確保されるよう努めねばならないと思ひます。

従来医学・歯学教育のために提供されたご遺体の大半は、身元不詳の行路病者あるいは全く身寄りのない方々でしたが、近年は社会福祉の向上とともにこのようなご遺体も著しく減少しております。これらの事情を考慮合わせてもご遺体の入手は、極めて困難な状況にあることが分かります。

幸にして、一方では現代医学・歯学教育における解剖学の重要性を深く理解され、献体をお願いし出くださる方々がようやく増加しておりますことは、医学・歯学教育の発展のためにまことに有り難いことであり、私も関係者一同心から感謝申し上げますとともに、責務の重大なことを一層肝に銘じている次第であります。医学・歯学教育の基礎となる解剖学教育充実のための献体運動に、なにとぞご理解

“敬老の日の善意 水飴、チリ紙をプレゼント”

去る、9月15日の敬老の日を前に、上原部落の上原伊世吉さん(72才)が、町内の88才以上のお年寄りの方に、水飴1缶とチリ紙1束をそれぞれに贈られて、お年寄りに大変よろこばれました。

また、趣味の花づくりで得た売り上げ金を貯めて、町社会福祉協議会に何かに役立ててと寄附されました。ご善意に感謝申し上げます。

文化の日によせて (11月3日)

文化は、人間の心がその土地の風土、歴史と相まって生れたもので、その地方独特の“顔”を持つのはむしろ当然です。

ですから「この祭りは、この地方だけの奇習で……」などと卑下したり、閉鎖的になったりする必要は毛頭ありません。わたしたちの郷土文化も、実は世界の文化の一端を担っているのだという気持ちを持ちたいものです。文化の“質”が問われる時代です。

自分たちの文化を高めるためには、ただ伝統を継承するだけでなく、異なった文化との交流が必要で、そのためには、郷土の文化を外に向けて育てるとともに、よその地方文化、ひいては世界の文化に数多く接することが大切です。この「内から外へ、外から内へ」の交流がうまくいってこそ地方文化はその質を高めていくことができるのです。その時こそ、本当の「地方の時代」がやってくると思ひます。

作家・小松左京(談話)

今後の村づくりと農業経営

村づくり講演会

(熱井の宮原先生)



去る九月二十四日、開発センターにおいて、今後の村づくりと農業経営についてと題して、鹿児島大学農学部助教授、宮田育郎先生の講演が行われました。先生は、肉用牛に関する権威者で、本町にも林間放牧や、農家調査などで来町され関心を寄せられていたとの事でした。

本町の農業については、まず「地力が劣っている」そのための意識的に地力(有機質・堆肥の増進)をつけることが大切であること。また、新しい作物や農業の仕組みについて、若い人や後継者が「魅力を感じるような施策」が必要であるということ等を指摘されました。

また、専門的肉用牛については、肉質を高めることが日本の流れとして進んでいる。そのためには質の良い素牛を求める産地作りが全国各地で推進されつつあり、岩手県の江差市、兵庫第一、宮崎県の高千穂町が但馬牛を中心とした三大産地として注目されている。

その他に岐阜県の高山市、宮崎県の都城市が改良牛の拠点となりつつあることを話された。講演を聞きにいられた方々も熱心にメモを取りながら聴講されていました。

鶴園地区の圃場整備着工

総事業費5,600万円



二期山村振興対策が昭和五十二年より始まり、栗山農道、山村開発センターの事業を実施しました。今年度の最終年度で鶴園地区の水田10・49ヘクタールの圃場整備が九月二十日

総事業費五千六百六十万円を着工された。水田は、農道、用水路、排水路に区分され、完成予定の三月中旬には、一圃場20アールに区分され整然とした水田に整備されます。

そして、水田の転作、裏作等が集落の話合いで行なわれ、水田の利用が高まり、農業所得の向上は勿論、労働力の軽減が図られ、地域農業の振興が期待される。

私たちの国民年金

国民年金制度がスタートして二十年が経過しました。全国で加入者が二千八百万人、受給者が五百万人を越え、他の公的年金に比べその増加は著しく、厚生年金と並んで我が国の年金制度の中心的な存在にまで成長しています。

これは、国民年金への加入対象者が農業、商業など自営業者を強制加入者としており、また、制度の改正、給付水準の向上に伴いサラリーマンの奥さんな

どの任意加入者が増加しているためです。そして、近い将来高齢化社会を迎える私たちにとって、年金への依存度はますます高くなっていることはいうまでもありません。

国民年金は、老後の所得保障を基本としていますが、障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金など不慮の事故にも年金が支給される仕組みになっており、私たちの生活に切っても切り離せない制度といえます。

国民年金の加入、年金の請求保険料納付の手続きなど詳しくは最寄りの社会保険事務所、役場年金係におたずねください。

共同募金

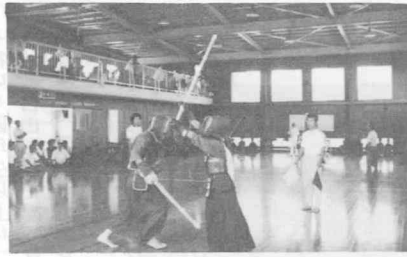


10月1日～12月31日

やさしさを隣人に

第二回町内小中剣道大会開く

田代町武道場の完成を記念して開かれた町内小中学校剣道大会が今年二回目を迎え、去る九月二十日午後二時より武道場で



開かれた。

町内四つの小中学校に共通するスポーツは剣道だけで、父母の熱もはいい盛会だった。成績は次の通りでした。

△小学校の部▽

団体戦優勝 田代小学校

個人戦優勝 安楽和人(田代)

〃 二位 平石 薫(〃)

〃 三位 持増明百(〃)

〃 三位 山下重克(〃)

△中学校の部▽

団体戦優勝 大原中学校

個人戦優勝 久保秀作(田代)

〃 二位 木尾 衛(大原)

〃 三位 大寺忠美(田代)

〃 三位 水流洋一(〃)

小中学校各種作品コンクール

作文・理科作品・図画作品

第二十三回県児童作文コンクールの町内審査が行われ二十四名が入賞した。

また、理科作品コンクールの町内審査も九月二十四日行われ各部門に優秀な作品が出品された。

一方夏休み中図画作品の肝属地区審査が行われ本町から十二名の特選を出した。

尚、県審査で山口武士君は入選した。町及び地区の特選入賞

者は次の通りでした。

【作文】(町審査)

△小学校の部

ふくやまとしふみ、くぎ田け

ん一、さかくちのぞみ、森村

ひろき、益田ひとみ、松ノ下

隆、小園夏代、前之園拓大、

△中学校の部

川辺みどり、田代真弓、馬場

礼子

【理科作品】(町審査)

△小学校の部

柴立貴美代、坂本久美、正木

陽子、持増健作、坂口美智代

田畑章子、玉泉智子、郷原サ

オリ、猪鹿倉ゆかり、有馬千

恵、浜川利浩、市来益美、森

村大樹、近川留美、木尾和則

川路聖子、小長野良博、小園

夏代、中野健一、田畑泰志、

田畑雅代、鶴田洋子、益満美

紀、中武賢臣、落合九州男、

△中学校の部

岩下宏之、川路由美子、田畑

浩司、釘田美和、松ノ下広和

木尾衛、伊藤吉和、大寺小百

合

【図画作品】(地区審査)

△小学校の部

山口武士、上田淳、原沢泉、

鮎川淳、嶋児まゆみ、田畑泰

志、嶋児由美

△中学校の部

宮園さとみ、平石智子、辻真

弓、門田洋子、久保秀作

PR あなたも武道を!!

健康増進と社交や親睦、あわせて根性造りに「剣道」、「銃剣道」をやってみませんか。

ご婦人の方も大いに歓迎します。また、居合道もありますので、高齢者の方もおいでください。ご希望の方は、

橋ノ口 山下 保まで

電話 二三〇九番

第一回大原地区小組合ソフトボール大会開く

町の小組合ソフトボールと全く同じ形式で大原地区の住民だけの大会を実施しようということになり、九月二十一日十二チームが新田グラウンドと大原中運動場に集まり実施された。

試合でのハッスルぶりがそのまま飲ん方にエスカレートし、

大へん盛大であったようです。

二回戦以降の結果は次の通りです。

〇二回戦
盤山B 17 — 14 住宅
東大原 11 — 11 西大原

〇優勝戦 抽せん
盤山B 27 — 13 東大原



ホーキ、雑巾を寄贈

川原地区の老人クラブの皆様方より田代小学校へホーキ約30本、雑巾約100枚、田代中学校へもホーキ約30本、雑巾約100枚の寄贈がありました。町内の老人クラブの皆様方より時々ご好意をいただいておりますが、ほんとうにありがとうございます。

地区対抗年齢別ソフト

恒例の地区対抗年齢別ソフトボール大会は今年にもぎやかに開催され、昨年につづき、各年代のトロフィー獲得をめざして老いも若きも和気あいあいの中がなばった。

各年代の優勝チームは次の通りで、うまく配分されたようだった。
二〇代……籠
三〇代……川原
四〇代……川原
五〇代……大原

小組合ソフトボール大会

十月二十六日(日) 多くの参加を